2026 年 11 月 25 日

各位

会　社　名　　Chordia Therapeutics 株式会社
代 表 者 名　　代表取締役　三宅　洋
（コード番号：190A　東証グロース市場）
問 合 せ 先　　IR マネジャー　吉良　亜実
TEL : 03-6661-9543
MAIL : info@chordiatherapeutics.com

CUePEAK BIO. Co., Ltd.との共同研究開始のお知らせ

Chordia Therapeutics 株式会社（本社：神奈川県藤沢市、代表取締役：三宅洋、以下「当社」）および CUePEAK BIO. Co., Ltd.（本社：韓国・大田広域市、代表取締役：黄埈成、以下「CUePEAK」）は、複数の化合物について、皮膚疾患治療薬としての可能性を探索することを目的とした共同研究契約（以下「本共同研究」）を締結しましたので、お知らせいたします。

本共同研究では、当社の抗がん薬パイプラインのうち、非臨床研究段階にある GCN2 プログラムを含む複数の候補化合物（以下「本化合物群」）について、皮膚疾患治療薬として活用できる可能性を検証します。本共同研究では、当社が保有する本化合物群および創薬研究に関する専門知識と、CUePEAK が独自に構築した薬理評価プラットフォームおよび皮膚疾患領域における創薬の専門性を組み合わせ、新たな治療用途の探索・評価を進めます。当社は本共同研究に必要なノウハウおよび研究材料を提供し、CUePEAK は皮膚疾患領域に特化した独自の研究プラットフォームを活用して、薬効薬理試験およびその他の関連研究を実施します。研究成果を踏まえ、両社はさらなる開発、ライセンス契約および事業化に向けた協力の可能性について、別途契約の締結を前提に検討してまいります。

本共同研究を通じて新たな治療用途の探索を推進するとともに、当社はがん領域を含む他の疾患領域における研究開発および事業開発の可能性についても引き続き検討してまいります。

なお、本件が当社の業績に与える影響は軽微です。

CUePEAK BIO. Co., Ltd.について

CUePEAK は、韓国政府出資の韓国生命工学研究院からスピンオフした、皮膚疾患領域に特化した創薬バイオベンチャーです。韓国における事業活動に加え、日本では横浜市に日本法人「株式会社キューピークバイオテック（CUePEAK Biotech Co., Ltd.）」を設立し、湘南ヘルスイノベーションパーク（湘南アイパーク）を日本国内の研究開発（R&D）拠点として活用しています。
CUePEAK は、アトピー性皮膚炎をはじめとする皮膚疾患を対象に、創薬と診断技術の開発を通じた精密医療の事業化を目指しています。特に、他の治療領域で開発された候補化合物について、皮膚疾患治療薬としての新たな適応可能性を探索するドラッグ・リポジショニング技術に強みを有しています。また、皮膚の炎症、かゆみ、フィラグリンの発現調節を含む皮膚バリア機能に関する専門知識を基盤として、皮膚疾患領域に特化した独自の薬理評価プラットフォームを構築しています。
CUePEAK は、日本をはじめとするグローバル市場の製薬企業およびバイオテクノロジー企業との戦略的な共同研究を通じて、独自の創薬プラットフォームの応用範囲をさらに拡大していくことを目指しています。

詳細は、CUePEAK のウェブサイト（https://cuepeakbio.com）をご覧ください。

Chordia Therapeutics 株式会社について

当社は、臨床開発品を擁するがん領域専門の研究開発型バイオベンチャーとして、神奈川県藤沢市に本社を置き活動しています。当社のリードパイプラインである CLK 阻害薬 rogocekib（CTX-712）は、米国での第 1/2 相試験を進行中です。rogocekib は、がんの脆弱性をターゲットにしており、有望な治療薬としての可能性が期待されています。また、当社は、リードパイプラインの rogocekib、MALT1 阻害薬 ocipumaltib （CTX-177） に加え、CDK12 阻害薬 CTX-439、GCN2 阻害薬など、複数のパイプラインの研究開発に取り組んでいます。

詳細は、当社ウェブサイト（https://www.chordiatherapeutics.com/）をご覧ください。